

令和5年度鳥取県西部地域歯科保健推進協議会 報告書

日時	令和6年2月22日(木) 午後1時30分から3時30分まで																		
場所	鳥取県西部総合事務所3号館1階 第31会議室(米子市糺町1丁目160)																		
出席者	○委員 13名(欠席2) ※会の成立(過半数以上の参加) ※傍聴なし ○市町村 9市町村10名 ○健康支援総務課(事務局): 藤井所長、木村副所長、柴田補佐、中垣事務員、森本歯科衛生士																		
報告 まとめ	<p>≪報告事項≫</p> <p>(1)西部圏域各種歯科健診結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> 西部圏域の特徴について、どの年代も経年的に減少傾向だが、県平均と比較して3歳児までは少しの差であるが高い傾向。4歳児～高校までは低い傾向である。 <p>(2)西部圏域歯科保健事業について</p> <p>(3)次年度歯科保健事業(案)について</p> <p>(保健所) 親子のよい歯のコンクールはR5年度で終了 (老健施設協会) 医師、歯科医師の指示を受けた歯科衛生士が施設に来て職員に指導に加算算定ができ、口腔ケアに注目が集まっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村から事業等紹介 →妊婦歯科健診(R6年度)8市町村へ、歯周疾患検診(R6年度)9市町村 <table border="1"> <tr> <td>米子市</td> <td>・歯周疾患検診の案内配布は、R4年度は50歳のみ。R6は全数案内へ ・3歳児健診にて保護者にチラシとフロスを配布・フレイルに係る事業にて口腔機能も盛り込む</td> </tr> <tr> <td>境港市</td> <td>・乳歯萌出前の6か月児集団指導で保護者に歯科保健指導・1歳半～3歳児の間にフッ化物塗布</td> </tr> <tr> <td>南部町</td> <td>・R6年度に妊婦歯科健診実施予定</td> </tr> <tr> <td>伯耆町</td> <td>・R5年度から3健受診後にかかりつけ歯科で継続予防のための取組み実施。・歯周疾患検診予定</td> </tr> <tr> <td>日吉津村</td> <td>・歯周疾患検診に来年度以降、20歳30歳を追加予定</td> </tr> <tr> <td>大山町</td> <td>・R5年度から妊婦歯科健診、歯周疾患検診を実施。</td> </tr> <tr> <td>日南町</td> <td>・介護予防体操(100歳体操、カミカミ体操)実施。</td> </tr> <tr> <td>日野町</td> <td>・保育所、義務教育学校でフッ化物洗口を実施。任意だが希望しないのは1名</td> </tr> <tr> <td>江府町</td> <td>・保育所、学校での指導に江尾診療所の歯科医師、歯科衛生士が指導 ・成人高齢期事業として、出張福祉保健講座で集落にて歯科教育を実施。</td> </tr> </table>	米子市	・歯周疾患検診の案内配布は、R4年度は50歳のみ。R6は全数案内へ ・3歳児健診にて保護者にチラシとフロスを配布・フレイルに係る事業にて口腔機能も盛り込む	境港市	・乳歯萌出前の6か月児集団指導で保護者に歯科保健指導・1歳半～3歳児の間にフッ化物塗布	南部町	・R6年度に妊婦歯科健診実施予定	伯耆町	・R5年度から3健受診後にかかりつけ歯科で継続予防のための取組み実施。・歯周疾患検診予定	日吉津村	・歯周疾患検診に来年度以降、20歳30歳を追加予定	大山町	・R5年度から妊婦歯科健診、歯周疾患検診を実施。	日南町	・介護予防体操(100歳体操、カミカミ体操)実施。	日野町	・保育所、義務教育学校でフッ化物洗口を実施。任意だが希望しないのは1名	江府町	・保育所、学校での指導に江尾診療所の歯科医師、歯科衛生士が指導 ・成人高齢期事業として、出張福祉保健講座で集落にて歯科教育を実施。
米子市	・歯周疾患検診の案内配布は、R4年度は50歳のみ。R6は全数案内へ ・3歳児健診にて保護者にチラシとフロスを配布・フレイルに係る事業にて口腔機能も盛り込む																		
境港市	・乳歯萌出前の6か月児集団指導で保護者に歯科保健指導・1歳半～3歳児の間にフッ化物塗布																		
南部町	・R6年度に妊婦歯科健診実施予定																		
伯耆町	・R5年度から3健受診後にかかりつけ歯科で継続予防のための取組み実施。・歯周疾患検診予定																		
日吉津村	・歯周疾患検診に来年度以降、20歳30歳を追加予定																		
大山町	・R5年度から妊婦歯科健診、歯周疾患検診を実施。																		
日南町	・介護予防体操(100歳体操、カミカミ体操)実施。																		
日野町	・保育所、義務教育学校でフッ化物洗口を実施。任意だが希望しないのは1名																		
江府町	・保育所、学校での指導に江尾診療所の歯科医師、歯科衛生士が指導 ・成人高齢期事業として、出張福祉保健講座で集落にて歯科教育を実施。																		
協議 まとめ	<p>≪協議事項≫</p> <p>(1)成人期における歯科保健課題に係る推進方策について</p> <ul style="list-style-type: none"> 成人期は歯科保健事業が少ない中、歯科検診が受けられる体制が整ってきた(歯周疾患検診実施市町村の増加)が、受診率が低く新たな課題となっている。 <table border="1"> <tr> <td>職域代表</td> <td>・歯周疾患検診については、体の健診と比べて認知度が低いこと、受診の法的義務がなく、休日に受けることとなり受けにくい。</td> </tr> <tr> <td>健保協会</td> <td>・健保協会では、健康経営の事業所に認定書を配布し、ポイントを貯めて、多く貯まった事業所を表彰する取組みを行っている。歯科検診もポイントが付与されている。</td> </tr> <tr> <td>医師会</td> <td>・リスクファクターのある人には一斉通知だけでなく、健診の通知に合わせて直接案内を行うなどの工夫をしてはどうか。受診率を上げるために、あらゆる手段を使う必要があると思う。</td> </tr> <tr> <td>西部歯科医師会</td> <td>・あらゆるアプローチと効率のよい周知の検討を継続する。</td> </tr> </table> <p>(2)乳幼児期・学齢期における歯科保健課題に係る推進方策について</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どものう蝕は減少傾向にあるが、年齢が上がるごとに増加。コロナ禍で子どもたちへの歯磨き指導やフッ化物洗口も取組みにくい状況。現在の指導状況、保護者含めた意識向上への働きかけ方法について、ご意見を伺いたい。 <table border="1"> <tr> <td>米子市内 保育園</td> <td>・コロナ5類移行後、フッ化物洗口を再開。以前は、園により実施時間がまちまちだったが、現在どの園も昼食後に実施。希望しない子が1～2名程度いるので、希望しない場合は水うがいを行って</td> </tr> </table>	職域代表	・歯周疾患検診については、体の健診と比べて認知度が低いこと、受診の法的義務がなく、休日に受けることとなり受けにくい。	健保協会	・健保協会では、健康経営の事業所に認定書を配布し、ポイントを貯めて、多く貯まった事業所を表彰する取組みを行っている。歯科検診もポイントが付与されている。	医師会	・リスクファクターのある人には一斉通知だけでなく、健診の通知に合わせて直接案内を行うなどの工夫をしてはどうか。受診率を上げるために、あらゆる手段を使う必要があると思う。	西部歯科医師会	・あらゆるアプローチと効率のよい周知の検討を継続する。	米子市内 保育園	・コロナ5類移行後、フッ化物洗口を再開。以前は、園により実施時間がまちまちだったが、現在どの園も昼食後に実施。希望しない子が1～2名程度いるので、希望しない場合は水うがいを行って								
職域代表	・歯周疾患検診については、体の健診と比べて認知度が低いこと、受診の法的義務がなく、休日に受けることとなり受けにくい。																		
健保協会	・健保協会では、健康経営の事業所に認定書を配布し、ポイントを貯めて、多く貯まった事業所を表彰する取組みを行っている。歯科検診もポイントが付与されている。																		
医師会	・リスクファクターのある人には一斉通知だけでなく、健診の通知に合わせて直接案内を行うなどの工夫をしてはどうか。受診率を上げるために、あらゆる手段を使う必要があると思う。																		
西部歯科医師会	・あらゆるアプローチと効率のよい周知の検討を継続する。																		
米子市内 保育園	・コロナ5類移行後、フッ化物洗口を再開。以前は、園により実施時間がまちまちだったが、現在どの園も昼食後に実施。希望しない子が1～2名程度いるので、希望しない場合は水うがいを行って																		

	いる。今後成果が出ると思っている。
境港市内 保育園	<ul style="list-style-type: none"> 園では決まった時間に手作りおやつを提供。おやつに限らず、子どもに決定権を委ねる保護者があり家庭支援が必要。むし歯の多い子では、家庭にも家庭支援が必要。 保育が以前のように（昼食や歯磨き等）一斉にやるのではなく、個々のリズムに合わせた保育に変化。そのような中、フッ化物洗口を一斉実施することは難しい現状。
幼稚園・認定こども園	<ul style="list-style-type: none"> コロナによりフッ化物洗口は中止し、現在も再開していない園が多い。再開前に改めてフッ化物洗口のメリットやデメリットを再確認したい。
小学校	<ul style="list-style-type: none"> 本校ではコロナ禍で給食後の歯磨きなしの影響で、むし歯が増えたという状況は見られなかった。再開した際に日本歯科医師会が作成した歯磨きちらしを活用。治療状況は50%は受診している。 次年度以降にフッ化物洗口対象校となる予定。やり方や時間の確保に不安がある。
高等学校	<ul style="list-style-type: none"> 高校では給食もなく、歯磨き時間の確保もない。歯科検診で要治療になった場合は、受診勧告を行うが、高校3年生は特に、530円で治療ができる最終年であることを併せて伝えている。
歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> フッ化物洗口に関して、デメリットはなし。あえて言えば高濃度のフッ化物を誤飲すること。他の先進国のように水道水（フッ化物適正）添加でないので集団の場合、する、しないの議論に。 メリットは歯質強化。飲食でpH5.6を下回ると脱灰するが、フッ化物で再石灰化する。飲食回数が多いと脱灰の機会（むし歯リスク）が増える。歯磨きも洗口も子どもに勝手にさせるのはダメ。 フッ化物の取り組みが充足している新潟県は、12歳のむし歯が1本以下と成果が見られている。 資料1P1の課題（年代が上がるという蝕罹患率が高くなる）を改善するためにも有効。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> フッ化物洗口を集団実施するメリットを補足説明 長年フッ化物洗口に取り組んでいる日野町では、むし歯予防の効果があることを紹介。一時、各家庭で取り組むようにした時に、家庭任せだと継続が難しかった。 フッ化物洗口に取り組む現場では負担もあると思うが、工夫しながら取り組んでいただきたい。

その他(各委員からの意見)

障がい者 施設関係	<ul style="list-style-type: none"> 26～80歳までが入所している障がい者施設。強度行動障害等、障がいも様々。 検診を受けてもらえる歯科医がなく、受診はできるが往診がしてもらえない等、施設で検診ができていない。年1回でも診てもらえればと思う。 >>（西部歯科医師会）・西部歯科医師会の担当者が対応する。是非、相談してほしい。
ケアマネ 協	<ul style="list-style-type: none"> 入所者は75～90歳代が多い。歯科への関心は少なく、義歯不適合、痛みがないと受診しない。 歯や口に関する健康講座が公民館単位で行われているが、参加者は多くても15名程度。食べることに関係するので、歯に意識を持ってほしいが、高齢になってからでは遅い。
老健施設 協会	<ul style="list-style-type: none"> 誤嚥性肺炎を防ぐために、オーラルリハビリテーションに力を入れている施設は多い。 成人期の歯周疾患検診の受診率が低いことに関して、健康経営で受診率アップに繋がる工夫が何かできないか。 >>（西部歯科医師会）・身体機能は悪くなくても、口腔機能だけ悪い人もあるか？ （大森委員）・口腔機能のみ悪い人も多くいる。 （西部歯科医師会）・舌のポジション、上顎の動き、呼吸などがよいとむし歯、歯周病も防ぐ。 日本人の4/5は不正咬合がある。出生時の母乳保育からスタートし乳幼児→学童期→成人期→よい口腔状態で高齢期へ繋げていけたらよい。
医師会	<ul style="list-style-type: none"> 味覚、食べることに繋がる歯を大切に教育を小さい頃から行い、よい習慣を付ける。大人になってからの習慣化は難しい。
歯科衛生 士会	<ul style="list-style-type: none"> 以前グループホームに勤務。20年前は総義歯の方がほとんど。現在そういった状況は減少。 食べるためには自分の歯の有無が大きな差を生む。残存歯が1本であれば義歯も安定しやすく1本の大切さを判ってほしい。どこの施設でも歯科治療が受けられる環境になればいいと思う。

8020協議会 提案	今回なし
---------------	------